

平成20年度独立行政法人福祉医療機構助成事業

シンポジウム

【聴覚補償リハビリテーションの研究】

補聴器装用者、人工内耳装用者の聴覚リハビリテーションについて、聴こえの物理的、生理的、心理的側面から、その現状や課題、研究成果などを専門分野の先生方に講義していただきます。

聴覚補償に関わる補聴器や人工内耳装用者の聞き取りの改善の方策と事例を研究発表することを通じて、今後、私たちにとって、どのような聴覚補償リハビリテーションが望まれるのかを

問題提起します。

聴覚補償とは補聴器や人工内耳を使った聞き取りの活用を指します。

日時 平成20年12月6日(土) 7日(日)

会場 東京・戸山サンライズ 2階 大研修室

東京都新宿区戸山 1-22-1

交通 東京メトロ東西線 早稲田駅下車 10分
都営大江戸線 若松河田駅下車 7分

参加費 無料 裏面の申込書をご利用ください

*定員: 200名

*情報保障: 要約筆記、磁気誘導ループ、手話通訳



*** スケジュール *** (変更になる場合がございます)

12月6日(土) 受付 12:30

13:00 オープニング、主催者あいさつ、厚生労働省あいさつ(自立支援振興室 高木憲司専門官)
実行委員長より事業経過報告

14:00 講義

聴能の心理的分野から: 内藤 明(臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科長、言語聴覚士)
人工内耳関係: 黒河 圭介(医療法人元気会 わかさクリニック理事長)
補聴器関係: 石井 喬志(日本補聴器販売店協会専務理事)
語彙の研究など: 坂本 修一(東北大学電気通信研究所)

16:30 1日目のまとめ その他

17:00 終了

12月7日(日) 10:00 再開

10:10 パネルディスカッション

コーディネータ: 中川 辰雄(横浜国立大学教育人間科学部教授)
パネラー:
内藤 明(臨床福祉専門学校 言語聴覚療法学科長、言語聴覚士)
黒河 圭介(医療法人元気会 わかさクリニック理事長)
滝沢 広忠(札幌学院大学大学院臨床心理学研究科教授、臨床心理士)
田内 光(国立障害者リハビリテーションセンター病院 第二機能回復訓練部長)
佐野 昇(全難聴・補聴医療対策部長 補聴器装用者の立場から)
高橋 はるみ(全難聴・補聴医療対策部員 人工内耳装用者の立場から)

12:10 昼食

13:10 パネラー・一般参加者との質疑応答、意見交換

14:30 ニューヨークリーグ(難聴者支援組織)訪問記

瀬谷和彦(全難聴・補聴医療対策部 副部長、弘前大学大学院医学研究科)

15:15 シンポジウム総括(まとめ)

16:00 閉会

主催: 社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

F A X : 0 3 - 3 3 5 4 - 0 0 4 6 全難聴事務局宛

「聴覚補償リハビリテーションの研究」シンポジウム
『参加申込書』

2008年12月6, 7日開催のシンポジウムに申し込みます。

所 属	
ふりがな 氏 名	(男・女)
住 所	〒 _____
FAX/TEL	FAX _____ TEL _____
メールアドレス	
情報保障	要約筆記 ループ 手話
昼 食	希望する (印をつけてください) 1,000 円
通信欄	

【ご案内】

この申込書をメール添付、F A X、郵送のいずれかの方法でお受けします。

〒162-0066 東京都新宿区市谷台町14番5号 MSビル市ヶ谷台1階

社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会(略称:全難聴) 事務局

電話 03-3225-5600 F A X 03-3354-0046 Eメール zennancho@zennancho.or.jp

参加費は無料です。どちらか1日のみの参加も可能です。

昼食(弁当)代は1,000円です。当日受付でお支払いください。

宿泊施設等のご用意、紹介は行なっておりませんので、必要な方は各自お手配下さい。

お申し込みをいただいた後、折り返し受け付け完了のお知らせをします。

締め切りは11月30日(日)です。申込者多数の場合は先着順で締め切らせていただくことがありますのでお早めにお申し込み下さい。やむを得ない事情等により当日の出席をキャンセルする場合は、必ずご連絡ください。

事務局記入欄 ____ 月 ____ 日 受け付けました。